

今日のキーワード 「ハードブレグジット」(欧州)

「ハードブレグジット」とは、英国が移民規制を優先するかわりに、欧州連合（EU）単一市場へのアクセスなどを犠牲にしてしまうことを指します。メイ首相は、移民規制を優先しつつ、最大限の単一市場のアクセスをEU側に求めていく見通しですが、完全なアクセスは困難との見方が多いようです。2017年3月までに英国はEUに対して離脱通告を行う方針ですが、今後2年間に亘る長い離脱交渉がスタートします。

ポイント1 「ハードブレグジット」は貿易関係を犠牲に 優先されるのは移民規制

- 「ハードブレグジット」とは、厳格に定義されているわけではありませんが、多くの場合、英国が移民規制を優先するかわりに、欧州連合（EU）単一市場へのアクセスやEUとの貿易関係を犠牲にしてしまうことを指します。

ポイント2 英国の競争力低下に直結 EU向け金融サービスも提供できなくなる

- 英国が「ハードブレグジット」を選択した場合は、英国のEUとの貿易関係は、ロシアやブラジルなどと同じ立場となります。つまり、英国とEUは相互に関税をかけたり、貿易制限をする関係となる見込みです。その結果、企業のコストが上昇し、競争力が低下することになります。金融機関については、英国で得ていた単一パスポートの権利を失い、EU向けの金融サービスができなくなることを意味します。



今後の展開 2017年3月までに離脱通告

- メイ首相は、2017年3月までに英国がEUに対して離脱通告を行う方針を明確にしましたが、EUとの関係がどうなるかはまだはっきりしていません。英国は、離脱を通告してから2年の間にEUと交渉する必要があります。英国財務省の試算では、「ハードブレグジット」となった場合、2030年頃にかけての英国の成長率は5.4～9.5%程度下振れすると予想されています。
- メイ首相は「移民規制を優先しつつ、最大限の単一市場のアクセスを求めていく」としていますが、最終的には部分的なアクセスにとどまらざるを得ない、との見方が多いようです。英国のEU離脱がどのような形となるか、引き続き注意を払う必要があります。

ここも
チェック! 2016年11月4日 BOEの金融政策 (2016年11月)
2016年11月2日 ユーロ圏のGDP成長率 (2016年7-9月期速報値)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。